

事務事業評価シート兼総合計画実施計画書

作製日 2021/07/02

事業ID	286	2次評価 対象外事業	②国などから法令等により事務委託され、町に裁量の余地のない事	分野	6	06 6防災・防犯	課名	福祉課
事業コード	00002			基本施策	1	01 1 災害に強いまちづくり	班名	福祉班
事業名	避難行動要支援者登録事業			大施策	2	02 2 防災体制の充実	担当者	多田てる子
				小施策	2	02 2 災害時の避難支援体制の整備	副担当	安池義治、杉山優子

◆事業の説明

◆事業の予算

(単位:千円)

事業の概要	災害発生時において、避難行動要支援者の方の円滑、かつ迅速に避難支援を行う体制の構築をするべく、そのための名簿への登録・整備を行う。	会計	科目	大事業			
			R2決算額	R3決算見込額	R4事業費	R5事業費	R6事業費
		直接事業費	0				
		人件費	684				
補足説明	登録内容は、民生委員児童委員、自治会長、警察、消防等へ情報提供しており、平常時からの見守りや所在地の把握、訪問等にも活用している。	事業費合計	684				
		国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
根拠法	災害対策基本法	その他	0				
計画等		一般財源	684				

◆事業の対象・活動・成果

◆事業の指標

対象 (誰・何に)	避難行動要支援者(支援を必要としている人)	対象 (誰・何に)	指標	単位	R2実績	R3見込	R4計画	R5計画	R6計画
			避難行動要支援者	人	330	330	330	330	330
					0	0	0	0	0
活動 (何を)	災害時において、関係機関への情報提供及び避難支援について理解をしてもらい、名簿の登録を行う。	活動 (何を)	各自治会長への会議での周知	回	1	1	1	1	1
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0
成果 (めざす形)	支援を必要とする人の大半を登録するようし、災害発生時には迅速、的確な避難支援を行えるようにする。	成果 (めざす形)			0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0

◆事業の現況評価

◆事業の状況・課題・提案・方針

必要性	事業の必要性は薄らいでいませんか？ [5点] ますますニーズは高くなっている		状況	名簿の追加、削除等、管理及び事務を行う。		
必然性	行政が関与しなければならない事業ですか？ [5点] 行政(町)が関与する必然性が高い		課題	要配慮者のうち、個人情報を知られたくない、または援助を必要としない、としての方の登録をどのようにして増やすかが課題。		
緊急性	即座に対応しなければならない事業ですか？ [4点] 依然として緊急性が高い		提案	今後は、民生委員児童委員を活用し、制度の案内、登録を積極的に行う必要がある。また、他課での窓口案内をしてもらうよう、周知を図る。		
実効性	手段(やり方)は適切なものとなっていますか？ [3点] どちらも言えない		方針	今後は、窓口対応時に制度を案内する等、周知を図る。		
時代即応性	事業の目的が色あせていませんか？ [2点] やや時代の変化や課題に対応していない		一次評価 (主管課)	②現状維持	二次評価 (内部評価)	③改善効率化
持続可能性	やればやるほど職員の負担となっていないですか？ [3点] どちらも言えない		評価理由	要配慮者の災害時での支援は、住民にとって多大な関心があり、今後ますます登録者数は増える一方である。反面、登録者数の増加は見られず、減る一方であり、今後は制度の周知等、手段を考えてかなければならないのが現状である。		